

# 県本部通信

Monthly  
Zen-noh  
Gunma

3  
2023 March  
No.250



This month's photo

安中原市の杉並木（安中市）



©群馬県ぐんまちゃん



## Contents

事業のうごき

JAピックアップ!

インフォメーション

アートクッキング

農業チャレンジャー

花木流通センター便り



JA全農ぐんま  
公式Instagram  
情報発信中!  
ぜひご覧ください



私たち全農グループは、**生産者と消費者を  
安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



JA全農ぐんま  
<https://www.zennoh.or.jp/gm/>



# 事業のうごき

## 畜産農産部

### 酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進  
(優良ET卵産子の活用促進)

### 米麦特産課

- 令和4年産民間流通麦引取推進
- 令和6年産民間流通麦生産計画推進
- こんにやく 荒粉・精粉入札販売の実施

## 園芸部

### 園芸販売課

- 共計ハウレンソウ販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味ニラ販売 (周年)
- 共計土ネギ販売 (3月中旬迄)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計キュウリ販売 (7月末日迄)

### 販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進

### 園芸資材課

- 春夏用出荷資材予約推進  
(ハウレンソウ・キュウリ・フキ他)
- 来年度産青果物段ボール予約推進
- 温床資材予約推進 (農ビ・ポリマルチ他)
- 春夏まき用野菜種子推進  
(ハウレンソウ・エダマメ・トウモロコシ他)

## 生産資材部

### 花木流通センター

- 創業祭48周年 3月16日(木)～20日(月)

### 肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- こんにやく 肥料農薬推進
- バンカーシート推進
- 果樹農薬推進

### 担い手推進課

- 大規模・系統未低利用生産者への推進支援
- JAの出向く体制強化支援

### 施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

## 生活燃料部

### 生活課

- 蓄電池推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)
- JAタウン取扱品目拡大
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)

### 葬祭センター

- ペット火葬推進 (周年)
- 墓石事業取扱拡大推進 (周年)

### 石油課

- 春期オイルキャンペーン (2月～5月)
- 春期タイヤキャンペーン (3月～5月)
- PayPayジャンボキャンペーン (2/15～4/16)
- PayPayクーポン3%還元キャンペーン  
(3/1～3/31)

### ガス課

- ガス・でんき新規獲得推進 (4月～3月)
- 給湯器燃料転換推進 (4月～3月)

## 施肥面談実習講習会



土壤診断センターは1月18日、JAビルにおいて「施肥面談実習講習会」を開催し、9JA20人が参加しました。土壤診断基礎知識の説明を横手土壤診断センター長が行い、JA佐波伊勢崎より出向している担い手推進課在籍の新井一樹氏より、JAで実際に行っていた生産者宅へ出向いての施肥面談の実施方法を説明していただきました。午後は、班別に施肥面談を実施するための準備を行い、班ごとに代表者による発表が行われました。各班の発表終了後、新井一樹氏と肥料農業課推進担当による講評が行われ、参加者は熱心にメモをとっていました。

## こんにゃく大黒天祭



1月19日、下仁田町の諏訪神社境内において「こんにゃく大黒天祭」が行われ、JA役職員や生産者、当県本部関係者などおよそ60人が参加しました。このお祭りはこんにゃくの豊作と消費拡大、価格向上など業界全体の繁栄を祈願するために毎年、開催されています。境内に設けられた祭壇に特大のこんにゃく芋が奉納され神事が執り行われました。

## 共同購入トラクター表彰式



1月20日、JAビル役員控室において「共同購入トラクター実販優秀者」全国表彰が行われ、JAたのふじ 高橋住行農機センター長が全国5位の成績を収め「優秀賞」を受賞しました。この表彰は、共同購入に積極的に取り組み、共同購入トラクターの受注に成果をあげた全国のJAの担当者が対象であり、上位10位(14人)までが表彰され、高橋センター長は全国5位という素晴らしい成績でした。

## 農業キッズプログラムで講師



肥料農業課は1月22日、伊勢崎市が今年度より始めた「農業キッズプログラム事業」からの要請を受け

て「トマトに関する講話」を行いました。事業では7月の開校式で伊勢崎市内の小学4～6年生17人を「農業キッズアンバサダー」に任命し、農業の振興と普及のためのPR活動を行ってきました。令和4年度は「トマト」をテーマに、ミニトマトの鉢植えや収穫体験、料理教室を行い、3回目となる今回は、肥料農業課内堀担当がJA全農ぐんまの概要やトマトの生育、肥料の現状について、わかりやすい言葉で丁寧に説明しました。参加者は肥料の試供品をプレゼントされると「この肥料を使って野菜をつくりたい」と嬉しそうに話してくれました。講話終了後、JA佐波伊勢崎トマトセンターを見学し、JA女性組織協議会の指導でスムージーとトマトカレーを作りました。

## 第26回 群馬県きのこ品評会 表彰式



▲ 生しいたけ部門で農水大臣賞・知事賞を受賞した森田さん



1月25日、県庁県民ホールにおいて第26回群馬県きのこ品評会の表彰式が行われました。品評会はキノコの品質向上とキノコ産業の振興、消費拡大を目的に、県と群馬県きのこ振興協議会、県本部が毎年開催しています。今回は3年ぶりの通常開催となり、生しいたけ部門やまいたけ部門など8部門に合計201点の出品がありました。審査は24日に形や鮮度・肉厚などについて行われ、各部門の入賞者が決まりました。

## ハクサイを フードバンク北関東へ無償提供



1月26日、園芸販売課は館林にあるフードバンク北関東へ、JA佐波伊勢崎とJA邑楽館林のハクサイ合計20ケースを無償提供しました。昨年7月のレタス、8月のキャベツに続いて3回目となり、提供したハクサイはフードバンク北関東を通じて子ども食堂や福祉施設、ひとり親家庭へ配られました。引き取りにきた支援団体の方から「これから子ども食堂や生活困窮者へ渡します。とてもありがたいです」とお礼の言葉をいただきました。

## 群馬県JA養豚団体連絡協議会



1月26日、群馬県JA養豚団体連絡協議会はJA東京アグリパークの角田事務局長、小松所長と「JA東京アグリパークでの群馬県産豚肉PRイベント」について会議を行いました。次年度、本施設でPRイベントを開催し、多くの消費者に県産豚肉のおいしさ、安心安全を伝えていきたいと考えています。日程など詳細が決まり次第、県本部通信等でお伝えします。

## 県産キノコを学校給食に寄贈



園芸販売課が事務局を務める群馬県きのこ振興協議会は東毛地区きのこ生産者連絡協議会協力のもと、館林市立学校給食センターに県産シイタケとマイタケを給食食材として寄贈しました。1・2月に市内の小中学校11校と中学校5校に、寄贈した県産キノコを使ったメニューが計9回提供されました。また、小学校11校には原木シイタケのほだ木を提供、実際にシイタケが木に生えている様子を観察してもらうなど食育活動にも取り組んでいます。学校給食への県産キノコ食材の寄贈は令和3年度から始めた新しい取り組みであり、県産キノコを食べることで愛着醸成、消費拡大を図ることを目的に実施しました。1月31日の給食には寄贈したキノコを使った「きのこのけんちんうどん」の汁が提供され、訪れた館林市立第一小学校6年3組の児童からは「キノコの食感がコリコリしておいしかった」などの声が聞かれました。



産地直送通販サイト

ぐんまの新鮮野菜

新鮮ぐんま

### ~今月のおすすめ~

## 「ぐんまの誇る「フルーツマト "ブリックスサイン"」(JAにっただみどり)」

糖度9度以上の高糖度トマト「ブリックスサイン」。根域制限栽培など栽培方法にこだわった「ブリックスサイン」は、小ぶりで果肉がしっかりしており、甘さにこだわった濃厚な味わいが特徴です。そのまま食べるのもおすすめですが、チーズとの相性が良いため、カプレーゼや、スムージーにしても美味しくいただけます。6月頃までの期間限定商品となりますので、この機会にぜひともご賞味ください。



おいしい日本と暮らそう



# JAタウン

www.ja-town.com



アクセスはこちら！

<https://www.ja-town.com/shop/c/c3201>

組合員の皆様へ

## お墓のコトなら

### なんでも見積無料

## 相談はJAに!!

- ◎戒名字彫り
- ◎お墓リフォーム
- ◎初めのお墓 など...

リフォームの施工例

施工前

施工後

墓石やお墓の価格、リフォームについて詳しくは、お気軽にご相談ください。

■お問い合わせはお近くのJA または JA全農ぐんま 葬祭センターへ

JA全農ぐんま 葬祭センター

TEL. 027-220-2645 FAX. 027-220-2443

# 農業 チャレ

# 農業チャレンジャー

部会員二丸となって

「ルージュの宝石箱」

販売高1億円を目指す

JA佐波伊勢崎管内下山 顕さん

JA佐波伊勢崎



Profile /

下山 顕 (しもやま・あきら)さん

1980年生まれ 42才

栽培品目：ミニトマト、大玉トマト

面積：55a

趣味：海釣り



ルージュの宝石箱

—今回の農業チャレンジャーは、JA佐波伊勢崎管内で高糖度ミニトマト「ルージュの宝石箱」を生産する下山さんです。

—就農時期は？

23、4才のころ就農しました。

—就農のきっかけは？

実家がトマト農家だった、という理由です。

—就農されていかがでしたか？

就農して「農家は儲からない」と知りました。どんなに「おいしいトマト」を作っても、収穫量が少なければ販売高が上がりず、経営はよくなりません。月に1度購入する高級品ではなく、毎日購入できるおいしいトマトを、多くの消費者が購入できる量を作ることが、結果として安定した経営につながるとわかりました。

—一年間のスケジュールを教えてください(生産～出荷まで)

9月に定植、11月から7月下旬まで収穫・出荷。3～5月がピークです。

—収穫量は？

年間10aあたり収穫量10tを目標にしています。いまの収穫量は8から8.5tです。

—目標を教えてください。

今の目標は「部会として『ルージュの宝石箱』販売高1億円突破」です。

高糖度大玉トマト「初恋物語」は収穫量が

少なく、買取価格もあまり高くありませんでした。その点、高糖度ミニトマト「ルージュの宝石箱」は「初恋物語」より作りやすく、収穫量も確保でき、価格も安定していたので、「ルージュの宝石箱」に移行しました。現在、管内7人の生産者で部会を運営しています。昨年度からその部会長を務めていますが、生産者・JA・市場の3者が協力し、それぞれの立場を理解して取り組みれば、目標達成も夢ではないと思っています。

—力を入れていることは何ですか？

生産者であれば、お客様の「おいしい」に応えられる商品を作りたいと思うのは当然ですが、「おいしい」だけでなく、「収穫量」もあげて、多くの消費者に届ける努力をすることが大切だと思います。それが結果としてよい経営にもつながると考えています。

—今後の展望をお聞かせください。

いま、生産者の「JA離れ」を感じています。でも生産者が、JAの販売網を有効に使い、販売高をあげることができれば、少しでもJA離れを回避できるのではないかと思います。JAがなくてはならない存在になるよう、生産者とJAが歩み寄り、お互い対等な関係になれるよう、微力ながら協力していきたいと思っています。

—初恋物語トマト部会長として部会をとりまとめている下山さん、今後の更なる活躍が期待されます。

# JAピックアップ! ✨

～JAの活動をご紹介します～

## JA甘楽富岡



乾燥させた後、のし餅にして園児の家庭に配られました。園児たちには、同日同子ども園の保護者会が餅つき機で作った「きなこ味」「砂糖醤油」の餅が振る舞われ、美味しそうに食べる園児たちの顔を見ることができました。

## JA甘楽富岡青年部東富岡支部 園児たちに餅つき体験開催

JA甘楽富岡青年組織協議会東富岡支部は、1月6日、富岡市富岡の社会福祉法人富徳会富岡ひばり第二子ども園で園児たちに餅つき体験を開催しました。同支部メンバーとJA職員の計11人が園児93人と4回餅つきをしました。

同支部メンバーが餅をつくたびに軽快な音を響かせ、その音に合わせて園児たちが「よいしょ、よいしょ」と掛け声を発して一体感に包まれました。

その後は同メンバー指導のもと、年少から年長までの3学年の園児たちが2人1組となって餅つきを体験。「楽しかった」「音が気持ちよかった」と笑顔で話しました。今回ついた餅は、新型コロナウイルス感染症対策のため、

## JAはぐくみ女性協、 有志で「国分になんじん」収穫

JAはぐくみ女性組織協議会の有志17人は11月29日、高崎市西国分町の圃場（ほじょう）で、地域の伝統野菜「国分になんじん」を収穫しました。新型コロナウイルスにより活動範囲が狭まった中、密回避できる取組みとして一昨年より実施。農事組合法人「国府野菜本舗」協力のもと、収穫や選別などを行いました。

3回目となる今回、毎年参加している会員は以前より慣れた手つきで作業。同法人の職員が掘り起こした国分になんじんを、形や大きさでA・B・C品に選別し出荷先ごとに荷造りしました。

国分になんじんは大正時代から栽培されてきましたが、栽培や保存が難しいこともあり生産は激減しています。そのことを危惧した同法人が、伝統野菜を守るため2009年より栽培を開始しました。

同協議会の天田和美会長は「栽培が大変な国分になんじんの収穫を、皆さんの力を合わせて手伝いましょう」とあいさつ。国分になんじんの歴史や同法人の取組みを伝えるとともに、感謝の意を述べました。

## JAはぐくみ



▲ 収穫を手伝う女性協会員たち

## みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は  
変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
お野菜キングダムⅢ（3月号）／JA群馬中央会	3月6日（月）	PM 9:00～ 9:30
	※3月12日（日）	AM 8:00～ 8:30
吾妻中央高校（案）／JA群馬中央会	3月13日（月）	PM 9:00～ 9:30
	※3月19日（日）	AM 8:00～ 8:30
ライスカップ駅伝（案）／JA群馬中央会	3月20日（月）	PM 9:00～ 9:30
	※3月26日（日）	AM 8:00～ 8:30
上野村（案）／JA上野村	3月27日（月）	PM 9:00～ 9:30
	※4月4日（月）	AM 8:00～ 8:30



中村 柚貴子アナ

## シイタケのカレー風味フライ



Food adviser **石垣 恵美**

1979年から群馬県家の光講師。  
FM局等でも活躍中。

### 材 料

6個分

(1個分71kcal)

シイタケ……………	12枚	塩コショウ……………	適量
はんぺん……………	1枚	小麦粉……………	大さじ1
ウィンナーソーセージ	1本	卵……………	1個
……………	1本	パン粉……………	25g
クリームチーズ……………	25g	揚げ油……………	適量
カレー粉……………	小さじ1	ソース……………	お好みで
クミンシード……………	小さじ1		

### 作り方

- 1シイタケは軸を切り、石づきを除いてみじん切り、はんぺん・ウィンナーソーセージもみじん切りにする。
- 2ボールに1、クリームチーズ、カレー粉、クミンシード、塩コショウを入れてよく混ぜ、6等分に分ける。
- 3シイタケの笠の内側に小麦粉をまぶし、2のタネを2枚のシイタケで挟む。同様に6個作る。
- 43のシイタケサンドに小麦粉、溶き卵、パン粉を順番につける。
- 5170度の油で4のシイタケサンドをきつね色に揚げる。食べやすく半分に切って器に盛り、あれば飾りにパセリを添える。

## 花木流通センター便り

開催日

内 容

3月16日(木)～20日(月) 創業祭48周年

開催日

栽培講習会

3月25日(土)・26日(日) 栽培講習会  
10:00～12:00 (サトイモ、ショウガ、トウモロコシ、エダマメ、落花生)

●定休日▶毎週火曜日※店内では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。



**KABOKU**  
花木流通センター

新鮮ぐんま **みのり館**

	営業時間	定休日
花木流通センター	4・5月: 9:00～17:00 6～3月: 9:00～16:00	4月・5月: 無休営業 6月～3月: 毎週火曜日定休
みのり館	4～3月: 9:00～17:00	年末年始を除いて 無休営業
様名十文字うどん	4～3月: 11:00～14:30	



住 所 前橋市亀里町1307-1  
TEL 027-220-2427  
お問合せ FAX 027-220-2424

始まっています/みんながトクする

**JAでんき**

JAグループだから  
簡単!安心!安い!



JAでんきとは

組合員のみなさまが日々ご利用されている電気

料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。

切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

お申し込み・ご相談はお電話、またはお近くのJAでんき代理事業者へ。  
おトクな料金メニューをご紹介します。

切替は簡単!

step 1	step 2	step 3
所定の申込書と 検針票の準備 <small>※現在のご契約内容が分かるもの</small>	JAでんき代理事業者 または JAでんき担当者へ提出 <small>※お電話には電力会社への取次連絡など 色の切替手続きは一切発生いたしません。</small>	指定メールアドレスへ 切替日程等 ご案内送付 <small>※指定メールアドレスなどドメイン指定を 行ったメールアドレスへメール送信できない場合は お電話にてご連絡ください。</small>

お手続きも図の  
担当者が  
直接  
ご訪問

詳しくはこちらから!  
<https://zennoh-energy.co.jp/ja-denki/>



【県本部通信】における個人情報の取扱いについて  
【県本部通信】に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前にご同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。  
(あて先) 〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで  
E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp